

事業名	中心市街地における人の流れを生み出す効果的な導線（連続性）づくり事業
事業期間	令和2年度～令和6年度
事業タイプ	地方創生推進タイプ
事業類型	横展開型
事業分野	まちづくり/コンパクトシティ、まちの賑わいの創出、連携中枢都市等のまちづくり分野

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中心市街地に都市機能が集積されたコンパクトかつ拠点性の高い都市構造を確立する。 ○ 中心市街地における経済活動（消費行動）の増進につなげる。 ○ 中心市街地の活性化（エリアの価値＝地価の向上）を達成する。
------	--

KPI	① 中心市街地居住者数
	② 中心市街地の地価公示（標準値）の平均値
	③ 中心市街地の主要商店街通行量（年間4日間12か所計測）
	④ 本事業に基づく遊休不動産の活用物件数（新規）

要素事業	1 街なか遊休不動産活用促進事業
	2 ICT等を活用した来街者動向調査・回遊等促進事業
	3 未来技術を活用した街なかブランディング事業
	4 中央大通りにける魅力ある土地利用リーディング事業
	5 中央大通り賑わい創出活動支援事業

事業費

(単位：千円)

年度	計画			実績				備考
	事業費	国交付金	地方負担	事業費	国交付金	寄附金※	地方負担	
R2	25,420	12,710	12,710	14,072	7,035	4,000	3,037	一部繰越
R3	94,700	47,350	47,350	55,256	27,627	6,400	21,229	一部繰越
R4	61,900	30,950	30,950	99,022	49,511	6,100	43,411	一部繰越
R5	53,000	26,500	26,500	53,000	26,500		26,500	実績＝計画
R6	39,000	19,500	19,500	39,000	19,500		19,500	実績＝計画
計	274,020	137,010	137,010	260,350	130,173	16,500	113,677	

※寄附金：企業版ふるさと納税（基金積立・繰入分を含む。）

KPI の状況

KPI	単位	指標	目標実績	開始前	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	KPI 増加累計
				R1実績	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
① 中心市街地 居住者数	人	水準型	目標		23	27	45	51	60	206
			実績	9,083	△ 94	△ 139	△ 47			△ 280
② 中心市街地 地価公示	円/㎡	水準型	目標		200	300	500	500	500	2,000
			実績	105,188	475	10,923	△ 3,003			8,395
③ 中心市街地 通行量	人	水準型	目標		1,850	2,000	3,700	9,500	19,800	36,850
			実績	63,150	△ 16,370	4,827	561			△ 10,982
④ 遊休不動産 活用物件数	件	累計型	目標		1	2	4	4	4	15
			実績	0	6	7	12			25

効果検証

自己点検（KPIの状況等を踏まえた事業の見直し内容・考え方）

KPI①「中心市街地居住者数」が当初予定した値を達成できなかった。R4年度末の中心市街地居住者数は前年度比0.53%の減であるが、佐賀市全体では0.39%の減、全国は0.43%の減（総務省統計局・人口推計（確定値）R5年3月）となっており、全国的な人口減少の傾向以上の減少幅となっている。これは、中心市街地エリア外の比較的地価が低い区域への居住（住宅・住戸の建築）が進んでいることが要因と考えられる。

本指標は、本事業の目的となるエリアの価値の向上（街なかの魅力の引上げ）をもって達成できるものであり、「土地利用の増進」と「需要の取込み」に向けた取組を着実に遂行する必要がある。前者はKPI③、後者はKPI②・④の達成に向けた取組に依拠するため、これらを効果的に展開することが求められる。

KPI③の「中心市街地の主要商店街通行量（年間4日間12か所計測）」がR5年度増加分（4年目）で当初予定を達成できた。R5年度の通行量調査は10月12～15日（4日間）に実施しており、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、市民等の来街や回遊が回復したことによる。一方で、累計値は当初予定を下回っていることから、事業の増強が求められる。本指標の達成に向けては、来街者の「目的をもって歩く／時間を消費する」という反応を引き起こす必要があることから、中心市街地における面的な人の流れ（複数拠点間の回遊・消費行動）を創出するに当たって、来街者の回遊情報（人数、頻度、回遊状況等）を可視化し、データに基づく具体策の立案へと結実させるとともに、複数拠点で賑わい創出活動（イベント等）を開催する民間事業者を支援する。

KPI②・④は、累計で計画以上の実績を達成する見込みであり、R5年度までの取組が効果的に機能していると考えられる。このため、引き続き、街づくり団体を中心とした遊休不動産の利活用促進に向けた支援体制（ワンストップ型窓口）を強固にするとともに、中心市街地の重点エリアである「中央大通り」を対象とする民間投資喚起策を着実に実行することにより、中心市街地エリア全体の活性化に寄与する。

外部組織による検証	
組織名	佐賀市まち・ひと・しごと創生推進会議
検証時期	R5. 8. 30 (水)
評価結果等	<p>SAGAアリーナ完成により、その周辺に資本が集中し、小規模の事業者が淘汰されることが危惧されるとの意見が出された。</p> <p>佐賀市中央大通りの未来ビジョンでは、エリアごとの期待される機能を定めており、特に街なかリビングエリアにおいては店舗の高さより連続性を重視した土地建物の活用を企図している。このように、エリアの特性・目指す姿に沿った形で、今後も都市機能の誘導を行い、拠点性が高く、多様な事業者が共存できる都市構造を確立していく。</p>

経費内訳 令和2年度（実績）

（単位：千円）

要素事業No. / 事業内容		事業費
1	街なか遊休不動産活用促進事業	2,700
	○街なか遊休不動産活用促進事業 委託費 ・遊休不動産の利活用促進に向けた支援体制の構築 ・遊休不動産活用セミナー・空き店舗見学会の開催 等 [実施体制] NPO法人まちづくり機構ユマニテさが	2,700
2	I C T等を活用した来街者動向調査・回遊等促進事業	3,981
	○I C T等を活用した来街者動向調査・回遊等促進事業 委託費 ・街なかの店舗情報等を掲載したW E Bサイトの構築・運用 ・街なかクーポン事業（街なか回遊・消費行動促進策）の実施 [実施体制] 株式会社ローカルメディアラボ	3,981
3	未来技術を活用した街なかブランディング事業	
	○街なか未来技術活用モデルプラン策定事業 委託費 ・「スマート街なか」の実現に向けた街なか未来技術活用モデルプランの策定 （佐賀駅バスセンターサイン再編計画を含む。） [実施体制] 未来技術活用によるまちづくり共同企業体 ※新型コロナウイルス感染症の影響によりR3繰越	※
4	中央大通りにおける魅力ある土地利用リーディング事業	5,434
	○中央大通りにおける魅力ある土地利用リーディング事業 委託費 ・中央大通り沿線の将来像や土地利用方針等の検討・構築 ・官民連携による中央大通り再生会議の開催 [実施体制] 昭和株式会社	5,434
5	中央大通り賑わい創出活動支援事業	1,957
	○中央大通り賑わい創出活動支援事業 補助金 ・中央大通りにおける民間主体のイベント等の開催支援 [実施体制] NPO法人まちづくり機構ユマニテさが（間接補助）	1,957
計		14,072

要素事業No. / 事業内容		事業費
1	街なか遊休不動産活用促進事業	3,599
	○街なか遊休不動産活用促進事業 委託費 ・遊休不動産の利活用促進に向けた支援体制の構築 ・遊休不動産活用セミナー・空き店舗見学会の開催 等 [実施体制] NPO法人まちづくり機構ユマニテさが	3,599
2	ICT等を活用した来街者動向調査・回遊等促進事業	7,846
	○ICT等を活用した来街者動向調査・回遊等促進事業 委託費 ・街なかの店舗情報等を掲載したWEBサイトの構築・運用 ・街なかクーポン事業（街なか回遊・消費行動促進策）の実施 [実施体制] 株式会社ローカルメディアラボ	7,846
3	未来技術を活用した街なかブランディング事業	31,257
	○街なか未来技術活用モデルプラン策定事業 委託費 ※R2→R3線越分 ・「スマート街なか」の実現に向けた街なか未来技術活用モデルプランの策定 [実施体制] 未来技術活用によるまちづくり共同企業体	10,467
	○SAGAスマート街なかプロジェクト実証事業 委託費 ・モデルプランに基づくデジタル技術活用による実証プロジェクトの展開 ※ ・多機能型情報メディア（人流センサー等搭載デジタルサイネージ）の設計・構築 [実施体制] 未来技術活用によるまちづくり共同企業体 ※新型コロナウイルス感染症の影響によりR4一部線越	16,390
	○佐賀駅バスセンターサイン再編整備事業 委託費 ・佐賀駅バスセンターのサイン再編整備 ※ [実施体制] 未来技術活用によるまちづくり共同企業体 ※新型コロナウイルス感染症の影響によりR4一部線越	4,400
4	中央大通りにおける魅力ある土地利用リーディング事業	9,732
	○中央大通りにおける魅力ある土地利用リーディング事業 委託費 ・中央大通り沿線の将来像や土地利用方針等の検討・構築 ・官民連携による中央大通り再生会議の開催 [実施体制] 昭和株式会社	9,732
5	中央大通り賑わい創出活動支援事業	2,822
	○中央大通り賑わい創出活動支援事業 補助金 ・中央大通りにおける民間主体のイベント等の開催支援 [実施体制] NPO法人まちづくり機構ユマニテさが（間接補助）	2,822
計		55,256

要素事業No. / 事業内容		事業費
1	街なか遊休不動産活用促進事業	3,100
	○街なか遊休不動産活用促進事業 委託費 ・遊休不動産の利活用促進に向けた支援体制の構築 ・遊休不動産活用セミナー・空き店舗見学会の開催 等 [実施体制] NPO法人まちづくり機構ユマニテさが	3,100
2	I C T等を活用した来街者動向調査・回遊等促進事業	9,604
	○I C T等を活用した来街者動向調査・回遊等促進事業 委託費 ・街なかの店舗情報等を掲載したW E Bサイトの構築・運用 ・街なかクーポン事業（街なか回遊・消費行動促進策）の実施 [実施体制] 株式会社ローカルメディアラボ	5,644
	○「サガマチ・ランデブー」広報動画制作等事業 委託費 ・W E Bサイト「サガマチ・ランデブー」の紹介動画の制作等 [実施体制] 株式会社ビープラスト	1,100
	○街なか人流データ調査・分析事業 委託費 ・W i - f iセンサーを活用した人流の調査・分析 [実施体制] 株式会社佐賀電算センター	2,860
3	未来技術を活用した街なかブランディング事業	69,482
	○S A G Aスマート街なかプロジェクト実証事業 委託費 ※R3→R4繰越分を含む。 ・多機能型情報メディア（人流センサー等搭載デジタルサイネージ）の構築・運用 ※ ・市民参加型ワークショップの開催 ・S A G Aスマート街なかプロジェクトアクションプログラムの策定 [実施体制] 未来技術活用によるまちづくり共同企業体	32,893
	○佐賀駅バスセンターサイン再編整備事業 委託費 ※R3→R4繰越分を含む。 ・佐賀駅バスセンターのサイン再編整備 ※ [実施体制] 未来技術活用によるまちづくり共同企業体	36,589
4	中央大通りにおける魅力ある土地利用リーディング事業	15,738
	○中央大通り土地利用促進適地調査事業 委託費 ・中央大通り沿線民地における事業化計画の検討 [実施体制] 昭和株式会社	6,490
	○中央大通り拠点エリア創出プラン等策定事業 委託費 ※ ・旧T O J I N茶屋跡地の活用策（民間活力の活用）の検討・構築 [実施体制] 昭和株式会社・株式会社地域経済研究所共同企業体 ※新型コロナウイルス感染症の影響によりR5繰越	
	○中央大通り土地利用促進プロモーション事業 委託費 ・中央大通り沿線の将来像等のプロモーション動画の制作等 [実施体制] 株式会社ビープラスト	3,476
	○中央大通り土地利用プランニング支援事業 補助金 ・中央大通り沿線の民間建築物の整備に向けた基本計画の企画・立案支援 [実施体制] 中央大通り沿線地権者等	5,772
5	中央大通り賑わい創出活動支援事業	1,098
	○中央大通り賑わい創出活動支援事業 補助金 ・中央大通りにおける民間主体のイベント等の開催支援 [実施体制] NPO法人まちづくり機構ユマニテさが（間接補助）	1,098
計		99,022